

事業活動（研修会・講習会等）報告書－ 1

1	活動名称	令和 7 年度「講演会」 ※参加者：42 名
2	実施日時	令和 7 年 8 月 29 日（金） 15 時 00 分～16 時 30 分（90 分）（会場参加）
3	担当幹事	事務局
4-1	実施内容・名称	研修内容①：「技術伝承という幻 ～私の橋梁人生、先人に 学び伝えること～」 研修内容②：「北海道土木技術会 コンクリート研究委員会 の活動紹介」
4-2	講義の概要	<p>研修内容①：技術伝承の再考と橋梁技術の展望</p> <p>1. <u>講演の背景と目的</u> 建設コンサルタントとしての約 35 年にわたる橋梁の計画・設計、補修・補強業務の経験に基づき、技術力の定義や後輩育成における「技術伝承」の在り方を問い直す。</p> <p>2. <u>構成および内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術伝承への問い：急激な情報技術の進化の中で、伝統的な技術伝承が持つ意義や可能性について考察する。 ・実務事例の紹介：携わった具体的な橋梁業務を例に、技術的特徴や創意工夫した点を解説する。 ・先人への学びと将来展望：過去の技術者の業績を振り返り、次世代の技術者に求められる資質や姿勢についての私見を述べる。 <p>研修内容②：北海道土木技術会コンクリート研究委員会の歩みと将来展望</p> <p>1. <u>講演の背景と目的</u> 北海道土木技術会コンクリート研究委員会の設立 70 周年（1954 年設立）を記念し、これまでの委員会の活動実績を振り返るとともに、積雪寒冷地におけるコンクリート技術の継承と今後の委員会活動の在り方を提示する。</p> <p>2. <u>構成および内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の組織と役割：北海道における土木技術の進展と普及を目的とし、現在は維持管理、設計仕様、国際交流など多岐にわたる小委員会構成されている。産官学が連携し、現場見学会や技術発表会、指針の策定などを通じて地域社会へ貢献している。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 70 年の活動実績と成果：1950 年代の PC グラウト施工指針の発刊から、近年の「北海道におけるコンクリート構造物の性能保全技術指針」の公表に至るまで、常に時代の要請に応じた技術発信を継続してきた。土木の日パネル展などの広報活動を通じ、選奨土木遺産（タウシュベツ川橋梁等）の紹介など、土木技術の普及にも注力している。 ・ 将来に向けた提言：AI や DX、BIM/CIM といった最新情報技術との融合を図りつつ、先人の知恵をどのように次世代へ継承し、北海道の社会基盤を支えていくべきかについての考察を述べる。
4-3	講師（氏名・所属会社名）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修内容①： 株式会社構研エンジニアリング 顧問 木村 和之 氏 ・ 研修内容②： 北海道土木技術会 コンクリート研究委員会 委員長 杉山 隆文 氏

事業活動（研修会・講習会等）実施報告書－2

5-1 実施状況写真

研修内容①：

「技術伝承とい
う幻 ～私の橋梁
人生、先人に学び
伝えること～」



研修内容②：

「北海道土木技術会
コンクリート研究委員会の
活動紹介」

